授業・提出物について

1．授業について

○　授業中に示される「ねらい」「ヒント」「トライ」「振り返り」とは？

・ほとんどの授業の始めと終わりに**「ねらい」**と**「振り返り」**を確認する時間が設定されます。

「ねらい」　…今日の授業でここまでできたら〇ということを示しています。見通しを立てよう。

「振り返り」…自分が今日の授業の「ねらい」を達成したかを確認する時間です。達成できていないと感じたら、ワークを使って復習したり、ノートを整理し直したりして必ず理解につなげましょう。もちろん先生に相談・質問しても構いません。

・また、授業の内容によって授業中に**「ヒント」**や**「トライ」**が示されることがあります。

「ヒント」…「ねらい」に迫るための方法を示します。ここでは知識として覚えることも多いですが、問題を解くためのコツや生活に活かす知恵を身に付けるためにとても大事な事を示すことが多いです。必ず注目しましょう。

「トライ」…「ヒント」を活かしてねらいを達成できるか挑戦する時間です。単元にもよりますが、多くは自分の答えや考えを他の人に伝えたり、聞いたり、相談したりする時間です。こうした取り組みをすると「ヒント」の内容を活かす力が身に付きます。

2．提出物について

○　提出物の種類について

①　授業ごとに提出する課題

…授業で取り組みについて説明があります。

②　定期テストごとに提出する課題

…テスト範囲に合わせた内容の提出物が示されます。約１週間前にプリントで内容と提出日が連絡されます。

③　長期休業（夏・冬・春休み）／連休に提出する課題

…休みに入る前にテスト範囲に合わせた内容の提出物が示されます。

○　評価について

どの教科においても、提出物は大きな評価材料になります。<u>きちんと取り組んで決められた締切に提出されている</u>ことが大前提です。「間に合わなかったから提出しない」などと安易に考えないようにしましょう。うまくいかない場合は必ず先生に相談しましょう。

○　力がつく取組にするために

締切日に提出することはもちろん大切ですが、そればかり考えてとにかく早く終わらせればいいという取組になっていませんか。最初から解答を丸写しにしたり、よく確かめもせずに全て〇の答え合わせをしたりしていることがあります。自分の力で解けなかったところがはっきりわかるようにして、テスト勉強につながる取組にしましょう。

国語科　学習の手引き

はじめに

　国語はあらゆる学習の基礎となります。授業だけでなく、進んで読書をしたり新聞記事を読んだりして、あらゆる言葉や表現に触れる機会を増やして力を付けよう。

1．家庭学習では

授業で指示する課題

・漢字書き取り練習

○　「漢字書き取り練習→点検テスト→間違い直し」の流れを習慣づけよう【関心意欲】

　テストで漢字に関する問題で点が取れていない人は、漢字を書き取るだけではなくて「漢字書き取り練習→点検テスト→間違い直し」の流れを自分で作って課題に取り組む習慣をつけてみましょう。直前に書き取り練習をしているのに点検テストで書けない漢字は要チェックです。１０回書き等の間違い直しに取り組んでテストに備えておきましょう。

定期テストごとに必ず提出する課題

・ワーク

○　ワークは授業の進度に合わせて進めよう。【予習・復習】

　テスト範囲が発表されてからではなく、授業が進むごとに復習として使うのがおススメです。また、ワークは予習として使うことでも効果があります。授業の発表がしやすくなったという声もよく聞きます。更に確実に力をつけたい人は１回目は別の用紙に、２ 回目にワークに書き込む方法も効果的です。（課題提出に遅れないように！）

2．授業では

○　教科書「学習目標」にそって「考えたことを言葉に」していきます。

　教科書の各単元には「学習目標」や「学習のポイント」が書かれています。「…読み取ろう」「…想像してみよう」「…まとめてみよう」など様々ですが、書いたり話したりして「考えたことを言葉にする」ことを中心に授業は進みます。苦手な人は１文だけ、単語だけからでも良いので「考えたことを言葉にして書いたり話したりすること」を心がけましょう。

3．テスト勉強では

○　答えが決まっているものからテストで書けるか確認していこう。

「①漢字→②言語事項（文法等）→③抜き出し→④表現問題」

　国語のテストは読み取りの問題のように問い方や答え方が様々な場合が多いですね。苦手な人は上の①～④の順に確認していくようにテスト勉強を計画してみましょう。

数学科　学習の手引き

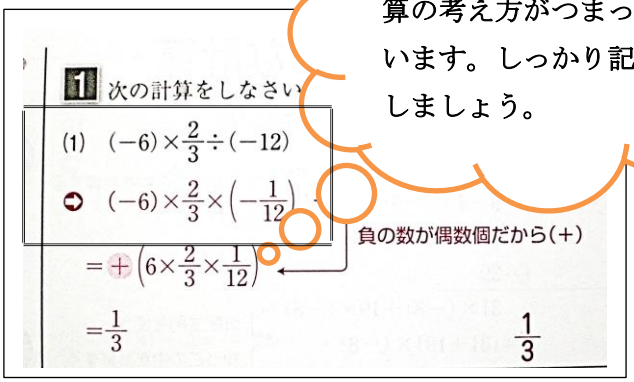
はじめに

数学は積み重ねの学問です。今までできなかったことも、少しずつきちんとステップ学習すれば、身に付きます。最後まであきらめず、自分に合う学習方法を見つけてください！

1. 家庭学習では（ワークの場合）

〇途中式を大切にしよう！

途中式をとばして答えのみを写している人がいます。そんなことをしても学力は身に付きません。しっかりとおさえてほしい所です。



この２行の式に四則計算の考え方がつまっています。しっかり記入しましょう。

2. 授業では

〇先生や友達の話を集中して聞こう。

教科書の説明に加えて、大事なヒントが詰まっています。

〇考え方の過程を残そう。

黒板を写すときも考え方は同じです。自分が考えた過程と、黒板の正解に至る過程を見比べて、同じ・異なる考え方なのかを理解することが本当の意味での「わかる」ことです。

〇発表にどんどん挑戦しよう。

答えを言うだけが発表ではありません。まずは自分の考えを口に出してみよう。

3. テスト勉強では

〇教科書・ノートで公式を確認する。

〇教科書やワークの問題を解いていく

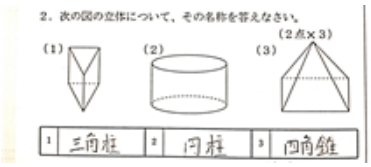
→解法が分からない所は、教科書・ノートで確認！

→それでも分からない所は先生に聞く！

〇間違えた問題をもう一度解く。できるまで何度でも。

（どの部分が誤っていたのか明らかにしながら）

＊テスト直しを必ずする。これが数学力アップの最も効果的な取り組みです。



テスト直しでは正解した問題も含めて、もう一度解答する習慣をつけていきましょう。

「継続は力なり」

数学にぴったりな言葉ですね。

社会科　学習の手引き

はじめに

社会科を学習すると以下のような効果が期待されます。

〇地理の学習により、それぞれの地域の特徴を知り、現在、将来の生活に活かされる。

〇歴史を学習により、様々な生き方を学び、今後の自分の生き方の参考にすることができる。

〇現代社会の状況を把握し、自らの判断に基づいた行動が出来る。

1．家庭学習では

〇教科書を５回読む（全体像をしっかりつかんで授業に臨もう）。

〇予習ノートを設け、重要な所を自分なりにまとめる。

〇教科書、資料集を読む。地図帳を見る。

〇ノートを見て、重要事項を整理する。

〇教科書や資料集の重要事項をチェックする。

〇チェックした内容、分かったことを授業用ノート等に書き入れる。

2．授業では　（６つの約束）

〇地理資料を分析し、なぜそうなるのか、理由を考えながら理解を深める。

〇歴史資料をしっかりと読む。歴史の流れを意識する。

〇歴史データを分析し、なぜそうなるのかを考え、発表する。

〇公民学習では常に身近な社会生活におきかえて考える。

〇板書だけでなく、重要だと思うことはノートに書き込む。

〇先生や友だちの経験談や話を聞き、自分はどうかと自問自答する。

3．テスト勉強では

〇教科書を何度も読み返す（最高の参考書です）。ノートを見直し、重要事項の整理をする。

〇地理では資料、地図から読み取れることをまとめる。そして「なぜそうなるのか？」考えを深める。

〇歴史では「歴史の流れ」「人物の考え」に重点を置き、資料等から分かることをまとめていく。

〇公民では制度や法律などについて、どうして出来たのか、なぜ必要なのか、それが世の中でどう活かされているのかに着目する。授業で使用したプリントや資料でさらに理解を深める。ワークや問題集を利用し、理解を確実なものとする。

4．ワンランクアップするために

〇毎日、新聞を読む（見出しだけでもかまわない）。

〇テレビニュースを毎日見る。（現代社会の状況を把握し、自らの判断に基づいた行動が出来るようにする。）

テレビ等で出てきた地名は地図で、歴史的事項は年表で確認する癖をつける。

〇世の中の出来事に興味をもち、「なぜなのか？」という疑問を常にもつ。

理科　学習の手引き

はじめに

理科は日常に起こっている自然現象について学ぶ教科です。授業で学ぶ観察や実験方法、知識をさらに普段の生活で生かし、役立てることでさらに理解が深まるでしょう。

1．家庭学習では

〇復習を徹底的に行おう！

その日のノートやワークシートを見返すことや、問題を解きなおしたりすることで定着へとつながります。日々の復習の積み重ねを徹底できれば、定期テスト前に焦って学習することなく、要点を押さえてより効率よく学習することができます。

〇授業の進度に合わせてワークを進めよう。

その日に学習した内容の、ワークの基本問題を進めていくことで、その日に学習した内容の復習になるとともに、自分なりの考えを深めることができます。テスト範囲が発表されてから取り組む人が多いかもしれませんが、基本問題はその日に行い、テスト前は要点や分からなかった点を復習する方が、効率よく学習を深めることができます。

2．授業では

〇「ねらい」を意識しよう。

「ねらい」を意識することで、今何に取りかかっているのか、何を学習しているのかが分かります。また、常に意識することで、自分で見通しを持って考えることができます。

〇聞くとき、書くときをハッキリしよう。

聞きながら書く、書きながら聞くという、「ながら」学習をすると、結局どちらもできずに終わります。聞くとき、書くときのメリハリを意識して、知識の定着を図ろう。

〇積極的に発表しよう。

発表をすることで、授業がスムーズに進むことに加えて、間違えていても自分の記憶に強く残ります。積極的に発表し、知識定着へとつなげよう。また、分からない点は手を挙げて質問しよう。他にも分からない人がいるかもしれません。クラスで助け合おう。

〇話し合い活動では、自分の意見を積極的に言おう。

多くの意見が出るほど、班の意見は深いものになります。他の人の意見と、自分の意見を合わせて、より良い答えに導こう。

〇実験を行うにあたっては、実験方法をよく確認し、実験結果を予想して行おう。

3．テスト勉強では

〇要点を押さえて、効率よく。

テスト前は重要用語や要点、公式などをもう一度確認し、忘れているところや苦手なところの問題を重点的に解こう。得意なところは手早く復習しよう。

〇授業内容に沿って復習しよう。

授業で行った内容を理解することが最優先です。落ち着いてノートやワークシートを見返し、疑問をまとめよう。

英語科　学習の手引き

はじめに

　わたしたちは、赤ちゃんのときから日本語をくり返し聞くことによって自然に話し始め、書いたり読んだりすることができるようになりました。英語を学習するときも同じです。アルファベットの２６文字や、その発音に慣れることが初めの一歩です。教科書の英語をくり返し聞き、読み、話し、書いてみる　―――　常に練習することこそ、英語上達の秘訣です。

習うより慣れろ！！

１．家庭学習では

〇自主学習ノート（学年によって呼び方が違う）を大いに利用する。

　例）　小テスト調べ・・・単語や英文を練習する。

　　復習・・・授業で学習した本文や単語、重要表現を何度も練習する。

　　テスト直し・・・テストで間違った問題をもう一度解く。

　　テスト調べ・・・ワークで間違った問題を何度も解く。

　　自己表現・・・学習した内容を使って、英文を作る。

〇音読練習をする。さらに、くり返し読んで暗唱に挑戦する。

〇授業の進度に合わせて、ワークに取り組む。

２．授業では　（５つの約束）

〇間違いを恐れず、積極的に大きな声で発音・発言する。

〇個人で、ペアで、グループで、全体で・・・どんな場面でも、だれとでも活動する。

〇字は丁寧に、誰が見ても読める字を書くように心がける。

〇板書は必ず写す。黒板に書かれていなくても、知らなかったことや大切だと思うことはノートにメモする。

〇分からないところは、質問して解決する。

３．テスト勉強では

〇ワークや授業で配られたプリントを使って、くり返しノートに書く。

〇教科書を見ずに本文を書けるようにする。　←　テストの点数アップの秘訣！！

〇とにかく自主学習ノートに書いて練習する！！

A Good Learner can succeed on the test

～授業を制する者がテストを制する～

音楽科　学習の手引き

はじめに

音楽は授業が勝負です！一時間一時間を有意義なものにするためには授業をしっかり受けることが大切です。忘れ物やチャイムの合図が守れないようでは困ります。授業を大切にしていきましょう。

1．家庭学習では

〇歌の歌詞を覚えよう。
〇リコーダーの練習をしよう。
〇楽曲の中で使われている音楽記号を覚えよう。
〇普段から様々な曲を聴き、感想を持つようにしよう。

2．授業では

〇大きな声で歌いましょう。
〇リコーダーをしっかり吹きましょう。
〇静かに音楽を聴きましょう。

毎時間クラスのみんなで合唱・演奏する喜びを味わい、表現する力をどんどん伸ばしていきましょう！

美術科　学習の手引き

はじめに

美術科では制作や鑑賞の幅広い活動を通して、様々な表現方法に挑戦し、創りだす喜びを味わいましょう。

1．家庭では

クロッキー帳にアイデアやスケッチを描きためてください。頭と目のトレーニングが大切です。

2．授業では（美術の力をつけるポイント）

〇発想（アイディア）

何もないところから突然ひらめくものではなく、普段の生活で学んだことや体験したことの中から生まれてくるものです。発想の面白さは、そうした自分が知っていることをいかに組み合わせて、新しい何かを作り出せるかにかかっています。

〇構成

幼い頃、積み木やブロック遊びをしませんでしたか。〇・△・□のパーツを気に入った形ができるまで何度も組み合わせたり、色の組み合わせにもこだわっていたでしょう。人は幼い頃からいくつかの要素を美しくまとまりのあるものにする（構成する）欲求を持っています。

〇構図

写真を撮るとき、私たちは少し考えてからシャッターを押していませんか。それは、どんなに対象（モチーフ）が素晴らしくても、構図が良くなければその魅力は半減してしまうからです。ただ何となく描くのではなく、主題を明確にして対象を選択したり、過去の名画を参考にするなど、自分の感動やイメージを効果的に表す構図を探してみよう。

保健体育科　学習の手引き

はじめに

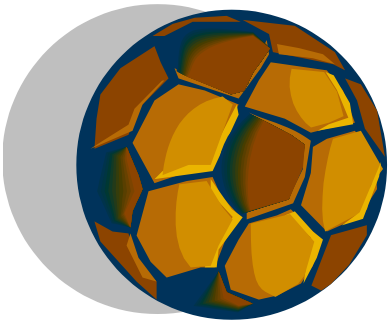
　保健体育科は体を動かして運動技能を学ぶと共に、心と体がどのように成長するのか、どうしたら健康的な生活を送れるかを学ぶ教科です。

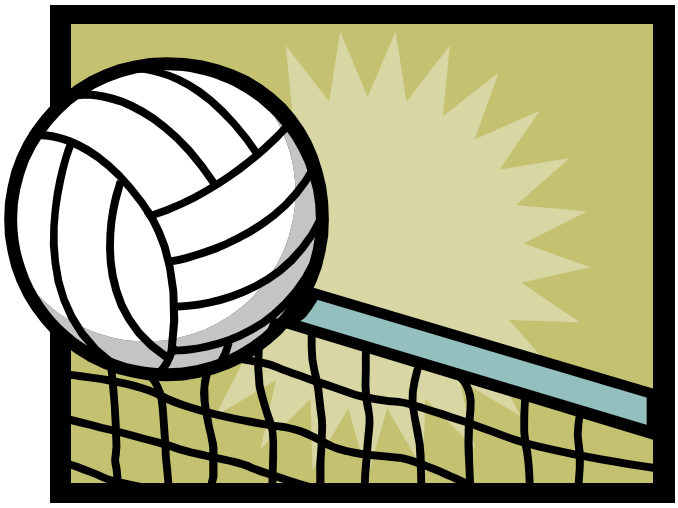
1．家庭学習では

〇学習した実技のルールやマナー、行い方など中学体育実技の本を使い、確認しよう。
〇動きのイメージトレーニングを取り入れよう。
〇お風呂あがりなどにストレッチをして、けがをしにくい体を作ろう。
〇授業で学習したところの教科書や保健体育ノートを見直し、確認して覚えよう。
〇十分な睡眠と栄養をとり、体調管理をしよう。新聞、テレビなどを見る時に、授業で学んだことに関係がある情報に関心を持とう。

2．授業では

〇一人一人のやる気が大切です。どの種目にも一生懸命取り組もう！
〇協力や教え合いをしながらみんなで上達していこう。
〇元気よく準備運動をし、けがや事故の防止に努めよう。
〇苦手種目や苦しいことにもチャレンジしていこう。
〇更衣を早くすませ、服装を整え、授業に遅れないようにしよう。





技術科　学習の手引き

はじめに

　エネルギー変換、生物育成、情報に関する技術について学習し、もの作りを行います。「持続可能」社会の実現に向けて、「生活を工夫し創造する資質・能力」を育むための知識や技能を学習します。

1．家庭学習では

〇新聞、テレビなどで、授業で学んだことに関係がある情報に関心を持ちましょう。
〇長期休みなどで、もの作りに挑戦してみましょう。
〇テスト前には、教科書・ノートでしっかり復習をしましょう。

2．授業では

〇話をしっかり聞いて、自分で判断できるようになりましょう。
〇教科書、ノートの確認をしっかりしましょう。
〇実習では安全に注意し、苦手なことにも最後まであきらめず一生懸命取り組みましょう。
〇道具・機械を安全に正しく使えるようになりましょう。

家庭科　学習の手引き

はじめに

　衣食住と家族や地域・環境、消費生活について学習します。つまり、毎日の生活、そしてあなたの明るい未来に通じる「生きる力」をつけるための知識や技術を学習します。

1．家庭では

〇お手伝いをしましょう。(掃除、食器洗い、洗たくなど)
〇自分のことは自分でしましょう。(ボタン付け、洗濯物たたみなど)
〇家庭で家族がどんな仕事をしているか観察しましょう。
〇新聞、テレビなどから得た情報に関心を持ちましょう。
　（家庭や家族に関わる情報がたくさんあります。）

2．授業では

〇話をしっかり聞きましょう。
〇教科書、ワーク、プリントの確認をしっかりしましょう。
〇実習では安全に注意し、苦手なことにも一生懸命取り組みましょう。
〇使用した道具は丁寧に使いましょう。
〇忘れ物が無いように授業の準備をしましょう。

MEMO

うまく学習が進まない時は

「部活を終えて帰ったらもうへとへと･･･ご飯を食べてあとは寝るだけになってしまうんです。」「机には座ってみたけれど何をすればいいか分からないんです。」など、怠けているわけではないのだけど、うまく家で勉強できないという声をよく聞きます。ここでは過去の先輩が実際にやっていた家庭学習をいくつか紹介しますので、困った時は参考にしてください。

● 「玄関開けたら２分で勉強」～帰ってきたらすぐやる作戦～

学校モードとか家モードとか、自分の気持ちが切り替わることを感じることはありませんか。家に帰ってきた直後は学校モードが少し残っていることを利用して、帰って来てすぐ着替えもせずに１つ宿題や学習を終わらせるという取り組みをしていた人がいます。「部活でへとへとになって帰って来て何となく休んでいたらもう寝る時間になってしまった」という、時間を作るのが苦手な人にオススメです。

● 「学習を始める時間を決める」～家でもチャイム席作戦～

学校で時間を気にせずだらだら過ごしている人はいませんよね。じゃあ家でも・・・というのがこの作戦。方法は簡単。「９時」と決めたら何が何でも９時に最優先で宿題や学習を始めるのです。見たいテレビ番組？ビデオをとりましょう。旅行中？単語帳を１つ持っていけばいいのです。家族の協力や理解を得ながら、決めた時間に必ず宿題・学習を始めるようにしてみましょう。実際に取り組んでいたお家では本当にお家の人がチャイム（というかフライパンのような物）を鳴らしていたそうですよ。

● 「誰かがいれば頑張れる」～飛び出せマイルーム作戦～

「家に帰ったら誰もいない・・・しめしめ、ゲームし放題・・・！」こんな幼い考えの人はいませんか。自分の部屋など１人になれる場所は人目がないのをいいことに、案外だらだらと過ごしがちです。悩んだある先輩は思い切って自分の部屋を出て食卓やでリビングなど、家族がいるところで学習に取り組んで家庭学習習慣を身に付けました。「ざわざわして集中できないのでは？」と思われがちですが、休み時間に教室で勉強してみると案外集中できるものです。多少のざわざわは集中力を高める効果があるそうです。お家の人に頑張っている姿も見てもらえるし一石二鳥かもしれませんね。

●「何をどう勉強すればいいのかわからない」～　宿題と提出物　～

「とにかく点数を上げたいけれど、何をどう勉強したらいいかわかりません！」という人は、まず「宿題」と「次の定期テストなどの提出物」の取り組み方を見直しましょう。先生たちはそれらに君たちがきちんと取り組めていることを踏まえて授業やテストを作っていますから、一番効率がいい学習といえます。自分で問題集を用意して取り組むこともいいことですが、まずは宿題や提出物に丁寧に取り組むことを大切にしましょう。過去の先輩には、「範囲が出る前に提出物に取り組む」「宿題・提出物を２回する（２倍法）」や「解けない／間違いをまとめたノートを作る（授業でも分からなければ持って聞いて回る）」に取り組んで成果を上げた先輩がいました。宿題や提出物が「とにかく早くやって出すだけ」の取り組みになっている人にオススメです。

●予習・復習を意識した学習習慣

ある程度学習習慣が身に付いてきたら、予習・復習を意識した学習習慣を身に付けましょう。予習・復習と聞くと特別なことをすべきと感じるようですが、そうでもありません。ある先輩の予習・復習は学校で使っているワークや提出物を使う方法でした。

予習	ワークや提出物に書きこまずに別のノートにやって答え合わせをする。
復習	授業後ワークや提出物に書き込んで答え合わせをする。

これだけです。それでもその先輩は取り組み始めてから飛躍的に力をつけました。それ以外でも「この課題は予習／復習になるな」というように、宿題や提出物を予習・復習に生かしていくと効率がいいようです。特に予習の取り組みは授業で発表できることにもつながって力を伸ばした先輩がたくさんいました。

●「さらに自主的な学習習慣を目指して」～基本は「間違い直し」～

力がついてくると、さらに自主的に学習に取り組む必要があります。先輩の多くは「間違い直し」を中心にした学習習慣を身に付けているようです。定期テストや小テスト、ワークや学習プリントで間違えた所は、放っておくと次のテストや入試で解答できません。つまり、その間違いを次のテストの時に答えられるような取り組みをすれば成果は上がるのです。粘り強く続けていけば次第に「前に間違い直しをしたやつや」という瞬間が増えてきます。間違い直しの仕方は「１０回書く」「間違いをためるノートを作る」など様々ですが、自分にあった「間違い直し」を身に付けてみましょう。